

商況

◎米國金物商況——十月中旬

一、銑鐵

銑鐵の新規需要は依然減退し只地方の製鐵所がベセマー銑及ベーシック銑の三萬噸乃至四萬噸を工場の出來得る限り早く引渡す約束にて買付せり、而して價格は普通バレー工場渡ベセマー銑三十六弗三〇ベーシック銑三十三弗にて取引行はれ居れり、價格は當分低落すべき見込なき模様なるも近き將來には銑鐵市場は可成の變動を生ずるならんと一般に豫想し居れり。

二、ピツツバーグ地方に於ける時價ベーシック銑三十三弗

セマー銑三十六弗三〇、グレーフォージ銑三十二弗、No.2 フワンドリー銑三十三弗、No.3 フワンドリー銑三十二弗五〇、マリエブルベセマー銑三十三弗五〇見當なり。

二、ピンクト及シートバー

本月上旬政府はソフトベセマー及オープンハースビレットの四時もの四十七弗五〇スマールビレットは五十一弗又シートバーは五十一弗と價格の發表をなせしか同業者にとりては一方ならざる驚愕を以て迎られたり、一般同業者はビレットはグロース弗噸に付四十七弗五〇の如き安

價ならんとは夢想たにせざる所にして且つ又シートバー及スマールビレットの價格とビレット四時ものゝ價格の差異グロース噸に付三弗五〇も高價ならんとは豫期せざりき、數年間普通ビレットとシートバーの値開きは噸に付一弗を超へたる事なく又ビレット四時ものとスマールビレットとの價格の差は一噸三弗を超し例を見ず、此は多分最近に於てシートバーとビレットが比較的長期間同一價格なりしと且つスマールビレットを普通のビレットより一噸約一弗高價なりし爲め斯かる價格の發表を見るに至りしならん、而して未だ此新價格にて取引行はれしを聞かず、先週に於ける最低價格はピツツバーグにて一〇〇〇噸のソフトオープンハースビレットの直渡もの五十弗四時のオープンハース一、〇〇〇噸は五十弗なりき。

三、鋼板

最近地方の汽車製造所は九月二十四日の政府公定價格の三仙二五にて厚鋼板三千五百噸を二ヶ所より買付せり、

而して工場は厚板ものに對しては三仙二五を唱へ居れるに拘はらず、此價格にて取引せられたるものは實に此二取引の外未だ再三せざる所なり、ピツツバーグ地方に於ける時價厚板ものは依然八仙なるも事實取引行はれず。政府の定めたるシートバーの價格五十一弗は稍や人氣を強硬ならしめたり、それは何れ出現すべき薄鈑に對する政府の公定價格は以前仕拂はれし價格即ちベースは燒鈍濟

のものにて六仙二五、ベセマーの六仙五〇亞鉛引鉄は八仙五〇(何れも二十八番もの)よりは幾分安價なるへしと豫想せし爲めなり、シート工場は本年内は大抵已に注文満腹の姿にして只二三の工場は先物なれば多少注文引受くる餘裕を存せり。

ピツツバークに於ける時價左の如し。

燒鈍濟ベセマー薄板	No3乃至No5	八仙乃至八仙五〇
同	No9及No10	八仙二五乃至八仙五〇
同	No11及No12	八仙五〇乃至八仙七五
同	No13及No14	八仙七五乃至九仙
同	No15及No16	九仙乃至九仙二五
ボックスタンニールトランペッターロールトロールト	No17乃至No21	八仙三〇乃至八仙八〇
同	No22乃至No24	八仙三五乃至八仙八五
同	No25及No26	八仙四〇乃至八仙九
同	No27	八仙四五乃至九仙
同	No28	八仙五〇乃至八仙九五
同	No29	八仙五五乃至九仙〇五
同	No30	八仙六五乃至九仙一五

れり。

ピツツバークに於ける時價次の如し。

八封度乃至十封度	八十三弗乃至八十四弗
十二封度乃至十四封度	八十二弗乃至八十三弗
十六封度乃至二十封度	八十弗乃至八十一弗
二十五封度乃至四十五封度	七十五弗乃至八十弗
重軌條ベセマー製	三十八弗

棒鋼の工場にては政府公定價格の二仙九〇にて未だ新規の申込なく工場は此價格にて注文申込來たるとも已に數ヶ月の先物契約ある爲め新規需要に應する能はざる旨を唱へ居れり。

ピツツバーク地方に於ける時價は本年末渡にて棒鋼四仙乃至四仙五〇少數量の直渡もの四仙五〇乃至五仙柔質棒鐵四仙七五見當なり。

五、形鋼

政府以外の注文はピツツバーク地方にては頗る僅少なり時價工形鋼及溝形鋼三吋乃至十五吋山形鋼三吋乃至六吋(等邊及不等邊共)の厚四分の一吋以上のもの 形鋼三吋以上るものにて四仙見當なり。

六、軌條

重軌條及輕軌條共新規需要は皆無の状態にして政府が軌條の價格を公定する迄は多分繼續すべく豫想せらるゝ而して政府は重軌條の價格を引下くるかは問題にして工場及鐵道會社は現在の價格を寧ろ保守せんことを仰慕し居れり。

七、ワイヤロット

三仙五〇乃至三仙七五

内地の需要はワイヤの取引減退するに連れ漸く減少せり、然れども海外輸出は依然盛にして加奈太、佛蘭西、

南亞米利加及其他の聯合國よりソフトロット及ハイカーボンに對する莫大の注文入込み、ソフトオブンハース

ロットの五百五十噸は九十三弗にて取引行はれり、政府の公定價格は五十七弗なるもピツツパーク地方に於ては

公定價格に依り取引行はれし模様なし。時價左の如し。

ソフトベセマー及オブンハースロット内地消費者向

八十三弗乃至八十五弗

普通のオブンハース鋼のハイカーボンロット

九十五弗乃至百弗

特殊鋼のカーボン・四〇%乃至・六〇%百弗乃至百十弗同上・六%を超ゆるもの百十五弗乃至百二十弗

八、銅

政府公定の價格は有名無實にして取引行はれす。

九、錫

市況相當に活躍し價格強硬なり。

十、鉛

市況不振にして價格下押氣味なり。

十一、亜鉛

市況全く沈滯狀態を繼續せり。

十二、安質母尼

依然不活潑を辿れり。

◎英國金物商況——九月下旬

一、銑鐵

クリブランド地方にては需給緩和せられ製造業者及消費者共に満足の状態にあり、而して目下貨車不足の爲め積送滞せるも直ちに一掃せらるへく豫期せらる。

ミッドランド地方はベーシック銑の產出額著しく増加すべき見込にして年末迄には莫大の數量増加すべく期せられ居れり。

フォージ銑の供給不足は今や顯然にして消費者側及同業者に於て此際何等かの方法を講せざるに於ては益々困難なる状態に陥るへし、ヘマタイト銑の需要は依然盛なり而してノースウェスト地方にては七月末以來振はさりし熔鑄爐作業に幾分の改良を加へられ數週間内には一二の熔鑄爐は新に作業開始すべき見込なり。

二、半成品

ビレット及シートバーの最高價格は依然十磅七先六片に變動なし、而して產出高全部は軍需品として吸收せられ普通消費者には振向くるの餘裕なし、不良鋼片は全く缺乏し價格もマイルトスチールより寧ろ高價なり。

三、鋼製品

此市場は絶え間なき軍需品として注文によりて全く支配せられ、而して造船所は工場產出の厚鋼板全部を吸收し

居り、形鋼及棒鋼はA級のものに限り一般商人間の取引を許せり、時價棒鋼十七磅十志以上帶鐵は十八磅以上を唱へ而て不良棒鋼は十六磅十志以上に上騰の氣配を示せり。

四、亞鉛引鋼板

市場は全く拘束せられ殆んど生氣なし、取引は國內の軍需用の注文に限られ僅かに佛國及伊太利より多少の注文あるの以外には輸出貿易皆無なり、價格は二十四番波形もの二十八磅乃至二十八磅十志見當なれとも事實取引なし工場は自國及聯合國の軍需品として黒鐵板の注文に忙殺せられ居れり。

五、銅

最近亞米利加に於ける電氣銅の價格決定の影響を蒙り價格著しく下落せり。

標準銅は十磅より九磅十志方下落して百十磅乃至百十磅十志電氣銅は七磅下落して百二十六磅乃至百二十八磅見當を唱へり。

六、錫

市場一般に強含となれり此は亞米利加向の輸出其他の關係により幾分在荷減少に起因せり。

七、鉛

最近市場に對する制限愈々嚴重となり爲めに普通の取引は殆んど杜絶するに至れり。

八、亞鉛

價格は依然變化なく五十四磅乃至五十磅にして外觀上底止せるか如し。

◎内國金物商況

一、鋼材類

一時狂奔的相場を演出せし鐵市場も九月上旬以來漸落歩調となり本月に入りても依然下落を辿りしを以て一時の最高價格より物によりては約四五割の暴落を見るに至れり、爾來思惑買せし手合ひも年末に際し金融等の關係上尙ほ多少の抛出物續出するに至るべく隨て年末迄は到底相場の回復は覺束なきものと信して大過なかるへし、然れども米國入電は内地市場に比し比較的高價にして大手筋は外注手控の爲め久しく手持薄の有様なれば自然其間に思惑外れの鐵の利喰に掛るべく又約二ヶ月以前より全く買進まさりし造船業者も底値を見透し早晚買付に出つるへき模様なるを以て早晚再び回復の機運に向ふへく豫想せらる。

今東京市場に於ける十月中旬よりの成行相場を示せば次の如し。(十貫目に付)

	十月月中旬	十月下旬	十一月上旬
一、棒 鐵	一四・七〇	一三・五〇	一三・五〇
一、鋼 板	二七・〇〇	二三・〇〇	二三・〇〇
一、丸釘(一樽に付)	三〇・〇〇	二八・〇〇	二六・五〇
今亦最近入電の米國相場を示せば左の如し(横濱 c.i.f 売場に付)			
十月六日 樹鋼、並時			一三五
十月十五日 鎌用棒鋼		十、十一月積出	一六〇
同 同 鋼板厚3/16"7/32"			三五〇
十月廿日 タンクプレート			二三一
十月十七日 工形鋼12"15"18"			二七四
十月廿二日 シップアレー		一、二、三月積出	一八五
同 同 塑物	直積		二八〇
山形鋼	來年中積出		二五三
			一六二
十、十一、十二月積出			

十月廿四日 棒鋼 1/4" 5/16" 十二、一月積出 一五九弗
 十一月五日 棒鋼、並時 一、二、三月積出 一三三弗
 十一月十日 薄板 No.29 No.30 No.31 十一、十二月積出 二〇七弗
 十一月十三日 棒鋼、並時 十二、一月積 一二〇弗

A、棒鋼

市場在荷は三時以下の細物不相變豊富にして賣行持しからす隨て價格弱含なり、一般棒鋼市場は米國相場と銑鐵の市況如何に依り今後の大勢決すべく而して銑鐵は鋼材相場に比し比較的強硬にして本年は勿論來年中も參百圓内外を保持すべく又一方棒鋼の輸入は現今に於ては絶無の狀態なるとも向後相當に需要喚起し再び外注の餘儀なき状態に至らは自然相場回復するの意見にて市場底強の氣味なり。

B、鋼鉢

薄鋼鉢の需要案外に振はす在荷潤澤にして價格五百圓見當なり、而て薄鋼鉢は米國禁輸ならざる爲先々暴騰の見込なかるへし、厚鋼鉢は米國の解禁絶望の状態なるを以て底強の氣配を蔽ふ可からず然れども現今にては素人筋の持荷多きと新造船所の在庫品抛賣りとの關係上價格漸落を辿り居れるも早晚第一に活氣を呈するに至るへし。

C、形鋼

一時盛況なりし山形鋼も今や漸落にして等邊は參百拾圓乃至參百參拾圓不等邊五百五拾圓見當を唱へ居れるも賣行持々しからず、加ふるに在荷品の數量莫大にして且つ輸入も自由なる爲め今後造船等の活躍を持続せざる限り價格の恢復覺束なき見込なり、又工形鋼及構鋼も價格下落し四百圓乃至五百圓見當を唱へり。

D、軌條

軌條は依然在荷不足勝の爲めに獨り價格強硬にして十二封度軌條は一哩七千貳百圓内外見當なり。

E、鍼力鉢

市況變化なく百封度ものは不相變品不足の爲め五十圓見當を唱へ居れるも百七十封度ものは九十三四圓見當を唱へり。

F、丸釘

賣行不振の爲め價格漸落歩調となれり。

G、銑鐵

一般鐵材の安値に連れ多少軟弱の氣配を呈し三百五圓見當を唱へ商談頗る閑散なれども不相變品薄の爲め今後左したる下落を見あるへし。

H、鉛

外電は四十三磅を報し保合狀態なり濠洲鉛現物二十六圓五十錢神岡二十五圓を唱へ居るも品薄の爲め比較的底強く漸次立直りの氣配に轉するやも不計。

I、錫

新嘉坡市場は百三十八圓五十錢にて強含にして現物は百四十二圓見當なり。

香港錫は不相變割高にして志興一號百四十三圓、三號百三十三圓の入電あれとも新嘉坡より高値の爲手合なし。

J、亞鉛

三池一號二十六圓、二號二十五圓三十錢唱へにして荷物なく相場保合狀態なり。

K、安質母尼

市中精製品二十八九圓唱へ輸出商談弗々にし大なる手合なきも氣配強硬なり。

○相場表

(特記せるものゝ外は)
總て十一月十三日調

鐵
與
鋼
第
參
年
第
拾
壹
號

